

《担当者名》○三国久美 mikuni@hoku-iryo-u.ac.jp 竹生 礼子

【概要】

家族の多様なあり方と家族看護の基本的な姿勢を理解する。さらに、家族を構造的および機能的にとらえる視点や家族看護に役立つ理論を活用し、家族を単位とした看護について学ぶ。

【学修目標】

1. 家族の多様なあり方を述べることができる。
2. 家族看護に役立つ理論を説明できる。
3. 紙上の事例を通して家族を単位とした看護過程を展開することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	家族看護の理念	家族とは、健康な家族とは 家族看護の目的と援助の基本的姿勢	三国
2	家族をとらえる視点	家族の構造と機能 (ジェノグラム、エコマップ)	三国
3	家族看護に役立つ理論	家族システム理論 家族ストレス対処理論 家族発達理論	三国
4	家族を単位とした看護過程の展開	家族の情報収集とアセスメント 家族の看護問題と看護計画	三国
5	疾患をもつ小児とその家族の看護 (1)	事例に基づく看護過程の展開 -情報の整理とアセスメント-	三国
6	疾患をもつ小児とその家族の看護 (2)	事例に基づく看護過程の展開 -看護問題と看護計画-	三国
7	在宅療養者とその家族の看護(1)	事例に基づく看護過程の展開 -情報の整理とアセスメント-	竹生
8	在宅療養者とその家族の看護(2)	事例に基づく看護過程の展開 -看護問題と看護計画-	竹生

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ワークシート80点、課題レポート20点

【教科書】

上別府圭子他：系統看護学講座別巻，家族看護学，医学書院，2018．

【参考書】

鈴木和子，渡辺裕子，佐藤律子：家族看護学，日本看護協会出版会，2019．

中野綾美，瓜生ひろ子：家族看護学 - 家族のエンパワーメントを支えるケア，メディカ出版，2020．

【備考】

Googleformを使用した出席確認および授業内容の理解度の確認を行う。

【学修の準備】

1. 次回の授業範囲に該当する教科書を読了する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,5

【実務経験】

三国久美（保健師） 竹生礼子（訪問看護師・保健師・介護支援専門員）

【実務経験を活かした教育内容】

実務経験に基づき、家族を単位とした看護について講義する。